



学校だより

「至誠」

防府市立松崎小学校

第9号

令和3年5月21日

＜聖火リレー中止を受け止めて＞

新型コロナウイルスの厳しい感染状況が続いています。ご承知のように、本来なら5月13日(木)に行われる予定であった聖火リレーも、県東部については中止となりました。

松崎小学校の吹奏楽部は、「東京2020オリンピック聖火リレー」ミニセレブレーションの中で、「パプリカ」やファンファーレを演奏するという役割をいただき、素晴らしい演奏となるよう、一生懸命、練習を繰り返してきました。

また、6年生の代表児童の二人は、「ウェルカムメッセージ」の朗読という役割をいただき、心を込めて朗読できるよう、日々練習を重ねてきました。

本番でこれらの役割を果たすことはできなかったのですが、コロナ禍でのそれまでの誠実な取組には、素晴らしい価値があったと思います。当日、二人が伝えるはずであった「ウェルカムメッセージ」を紹介します。

福島県から、たくさんの方がつないできた「聖火」

そして、「東京オリンピック」へとつながっていく「聖火」

その「聖火」が、もうすぐここ防府天満宮にやってきます。「聖火」は、スポーツを通じて、心と体を鍛えよう、世界のたくさんの国の人と交流し、平和な社会を築いていこうという「オリンピック」の象徴です。

その「オリンピック」に参加するという、夢をかなえるために、選手のみなさんは、「強い心」で「たくさんの努力」を重ねてこられました。

そんな中、昨年、「コロナウイルス」という「目に見えない難敵」と向き合う生活が始まり、「オリンピック」は延期をされました。この「コロナウイルス」と向き合う、長くつらい生活の中で、あらためて、わたしたちは、人のやさしさや、人と人のふれあいの大切さに、気づくことができました。そして、オリンピックの「聖火」は、そんなたくさんの人々の希望や願いとともに、つながって来ています。

オリンピック、パラリンピックのような「夢をかなえる努力」と「自分を信じる強い心」、新しい生活の中で、気づくことができた、やさしさや、ふれあいなどの「見えないけれど、とても大切なもの」を、みんなでつないできた「聖火」のように、未来へとつないでいきたいと思います。

松崎小学校6年 達川 世奈 柳井 聡太

吹奏楽部は「オリンピック100日前イベント」で、ファンファーレを披露しました。たくさんのお花で飾られた防府天満宮「大階段」の下の広間で奏でたファンファーレは、それは厳かな演奏でした。(写真右「市広報」より)

聖火リレー当日の、演奏前に伝えるはずであったあいさつを紹介します。

みなさんこんにちは！ 松崎小学校吹奏楽部です。

本日は、聖火リレーミニセレブレーションという素晴らしい場で演奏させていただけることを、大変感謝しております。私たちが生まれて初めて、日本でオリンピックが行われます。世界の一流のアスリートが、日本に集まってくると思うと、ワクワク、ドキドキしています。オリンピックの成功を願って、応援ソング「パプリカ」を、心を込めて演奏します。かわいい踊りもお楽しみください。

